

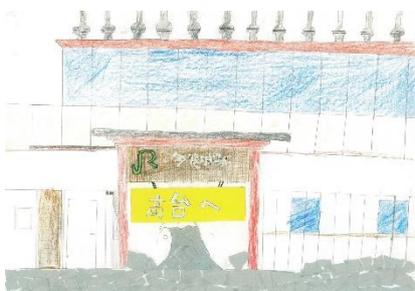
第3回みやぎ災害伝承ポスターコンクール受賞作品

受賞者	作品	講評
小学校低学年の部 最優秀賞 お人形社幼稚園 年長 原 雅貴 さん (はら まさたか)		表情豊かに、意欲を持って学んでいる姿が、絵の構図や色使いから感じ取れる作品です。震災遺構中浜小学校の描写や標語から、「残す」「伝える」思いが強く伝わってきます。次世代の担い手として頼もしさも感じ取れる作品です。
小学校低学年の部 特別賞 川崎町立川崎小学校 1年 菅原 系 さん (すがわら いと)		災害が起きたら、何をすべきか。自分で考えて、話し合う、助け合う、必要なものを懸命に描いた、思いがあふれた作品です。 目を引く色使いと構図で、バケツを携え消火を行う白い鳥が大変印象深く、記憶に残る作品となっています。
小学校低学年の部 優秀賞 大崎市立岩出山小学校 1年 石上 晴子 さん (いしがみ はるこ)		学んだことを伝えるということが言及されているところがポイントです。 色使いや人物の表情、文字の表記から、作者の防災学習に対する前向きな姿勢や、関わる方たちの温かさ、優しさも伝わってきます。 何を伝えていくのかを明確に示された作品です。
小学校低学年の部 佳作 仙台市立七北田小学校 2年 佐藤 基 さん (さとう はじめ)		

第3回みやぎ災害伝承ポスターコンクール受賞作品

<p>小学校低学年の部 佳作 白石市立白石第一小学校 3年 松島 健剛 さん (まつしま けんご)</p>		
<p>小学校低学年の部 佳作 亘理町立亘理小学校 3年 笹木 悠慎 さん (ささき はるま)</p>		

第3回みやぎ災害伝承ポスターコンクール受賞作品

受賞者	作品	講評
小学校高学年の部 最優秀賞 塩竈市立第三小学校 5年 前原 唯捺理 さん (まえはら いおり)		<p>さまざまな想いや教訓を、しっかりと明日へ繋げていこうとする、強い意志が感じ取れる作品です。</p> <p>「繋げる想い」「繋がる希望」の標語表現もすばらしく、逆境にも負けず、希望を持って歩もうとする決意が伝わってきます。</p>
小学校高学年の部 特別賞 多賀城市立多賀城小学校 4年 長谷川 新汰 さん (はせがわ あらた)		<p>描かれている人の真剣な表情からも、日頃の防災訓練の大切さ、防災頭巾を被り自分自身で命を守る行動を取る大切さが伝わる作品です。</p> <p>シンプルな標語が日頃の訓練の重要性を伝えており、色使いも工夫されています。</p>
小学校高学年の部 優秀賞 塩竈市立浦戸小学校 5年 丹野 希駈 さん (たんの きく)		<p>津波がじわじわ迫りくる様子を貼り絵で表現。画中の「高台へ」からは、命を守るため「少しでもはやく、より高い所へ」という作者の強いメッセージが伝わってきます。</p> <p>家族と共有しておかなくてはいけない情報の一つです。</p>
小学校高学年の部 優秀賞 白石市立大平小学校 5年 我妻 雫 さん (あがつま しずく)		<p>突然襲いかかってくる自然災害の恐ろしさを表現している作品。だからこそ、日頃の備えがいかに大切かを、教えてくれる作品です。</p> <p>いつ起こるかわからない「その時」に向けて、みなさんは避難の準備できていますか。</p>

第3回みやぎ災害伝承ポスターコンクール受賞作品

<p>小学校高学年の部 佳作 仙台市立向山小学校 6年 加藤 遥真 さん (かとう はるま)</p>		
<p>小学校高学年の部 佳作 塩竈市立第三小学校 5年 八巻 和摩 さん (やまき かずま)</p>		
<p>小学校高学年の部 佳作 角田市立金津小学校 5年 松岡 秀哉 さん (まつおか しゅうや)</p>		
<p>小学校高学年の部 佳作 多賀城市立天真小学校 5年 新出 淳登 さん (にいで あつと)</p>		

第3回みやぎ災害伝承ポスターコンクール受賞作品

<p>小学校高学年の部 佳作 大河原町立金ヶ瀬小学校 6年 菊地 礼大 さん (きくち らいと)</p>	 <p>A poster with the title '忘れられない!' (I can't forget!) written in large, colorful characters at the top. Below the title, there are several drawings: a red vertical banner with white text, a blue vertical banner, and various smaller sketches of buildings and figures. The background is light-colored with some faint drawings.</p>	
<p>小学校高学年の部 佳作 巨理町立巨理小学校 6年 鈴木 あかり さん (すずき あかり)</p>	 <p>A poster with the title '伝えて 備える' (Share and Prepare) written in red characters at the top. The main illustration shows a landscape with a large, dark, irregular shape in the center, possibly representing a disaster site or a shadow. Below it, there are green bushes and a small brown structure. The background is light blue and white.</p>	

第3回みやぎ災害伝承ポスターコンクール受賞作品

受賞者	作品	講評
<p>中学校の部 最優秀賞 宮城県古川黎明中学校 3年 飯牟禮 たまき さん (いいおれ たまき)</p>		<p>標語にインパクトがあり、重要語句をリズムカルに表現し、読み手に伝わりやすいのもポイントです。 イラストも丁寧に描き、色使いを工夫していることで、絵も標語も躍動感のある作品として仕上がっています。</p>
<p>中学校の部 特別賞 宮城県古川黎明中学校 3年 狩野 歩南 さん (かりの あゆな)</p>		<p>災害時に SNS 等で流れるフェイクニュースに騙されることなく正しい情報入手する大切さが伝わる作品です。 注意喚起を促すような作品の構図や標語のバランスも工夫が見られ、作品を見た人に考えさせるような内容になっています。</p>
<p>中学校の部 優秀賞 気仙沼市立鹿折中学校 2年 半沢 和奏 さん (はんざわ わかな)</p>		<p>幼児や妊婦、お年寄りや体の不自由な方等、災害時の避難行動に支援を要する方への対応も重要です。 普段から様々な立場の視点に立って備えていく必要があることを、作者は訴えています。</p>
<p>中学校の部 優秀賞 富谷市立東向陽台中学校 1年 阿部 柚輝 さん (あべ ゆずき)</p>		<p>隙あれば、今にも掴み引きずりこもうとする津波を「手」で表現している様は、津波の怖さを十分に表現しています。併せて、人物の表情や線の描き方にも工夫を凝らすことで、必死さと緊張感が増し、作者からも「迷わず逃げろ」と一声聞こえてくるような作品に仕上がっています。</p>

第3回みやぎ災害伝承ポスターコンクール受賞作品

<p>中学校の部 佳作 宮城県古川黎明中学校 1年 佐々木 碧生 さん (ささき あおい)</p>		
<p>中学校の部 佳作 仙台市立南中山中学校 3年 佐藤 あめり さん (さとう あめり)</p>		
<p>中学校の部 佳作 石巻市立蛇田中学校 2年 高橋 陽日 さん (たかはし はるひ)</p>		
<p>中学校の部 佳作 栗原市立栗原南中学校 3年 佐々木 詠万 さん (ささき えま)</p>		

第3回みやぎ災害伝承ポスターコンクール受賞作品

<p>中学校の部 佳作 松島町立松島中学校 3年 本間 梨央奈 さん (ほんま りおな)</p>		
<p>中学校の部 佳作 東北学院中学校 2年 (紫山こども絵画・造形教室) 管野 樹 さん (かんの いつき)</p>		

第3回みやぎ災害伝承ポスターコンクール受賞作品

受賞者	作品	講評
高校の部 最優秀賞 宮城県宮城野高等学校 1年 大場 一穂 さん (おおば いちほ)		<p>「あの日」県内の中学校は、ほとんどが卒業式でした。おめでたいはずの一日が、一転。どういう思いで海を見つめているのか。卒業証書ホルダーを握りしめる右手からは、様々な感情が汲み取られ、見る人の心に訴えかけます。</p>
高校の部 特別賞 宮城県宮城野高等学校 1年 吉川 真優 さん (よしかわ まゆ)		<p>スマートフォンをかざして過去と現在を比較するなど、発想が現代風でインパクトがあり、構図が工夫されています。</p> <p>整備された場所を見ると、災害がなかったかのように見えますが、“そうじゃない”ことがありありと伝わってくる作品です。</p>
高校の部 優秀賞 宮城県宮城野高等学校 2年 一條 美妃 さん (いちじょう みさき)		<p>次世代への伝承の大切を手で表現することで「絆」や伝えていくことへの大切さが感じ取れます。東日本大震災から13年が経ち、震災を知らない世代が増えてきている中で、当時の「記憶」を次世代に「つないでいく」ことは使命でもあり、担い手としての自覚が伝わってきます。</p>
高校の部 優秀賞 宮城県多賀城高等学校 1年 八巻 碧空 さん (やまき あいら)		<p>「自助・共助・公助」への言及があり、普段から意識し心掛け、生活していることが伝わってくる作品です。</p> <p>三助のみをあえて色付けし強調することで、皆さんにも訴えかけています。改めて、三助とはなにか。考え実践してみませんか。</p>

第3回みやぎ災害伝承ポスターコンクール受賞作品

<p>高校の部 佳作 宮城県宮城野高等学校 1年 中川 華凜 さん (なかがわ かりん)</p>		
<p>高校の部 佳作 宮城県宮城野高等学校 1年 細谷 くるみ さん (ほそや くるみ)</p>		
<p>高校の部 佳作 宮城県松島高等学校 2年 森 みくる さん (もり みくる)</p>		
<p>高校の部 佳作 宮城県松島高等学校 1年 大山 美咲 さん (おおやま みさき)</p>		

第3回みやぎ災害伝承ポスターコンクール受賞作品

<p>高校の部 佳作 宮城県松島高等学校 1年 鈴木 柚詠 さん (すずき ゆえ)</p>	 <p>A poster with a dark background. At the top, the text '災害時、好奇心に' (During disaster, curiosity) is written in white. In the center is a glowing, golden-yellow eye. At the bottom, the text '負けないで' (Don't give up) is written in pink.</p>	
<p>高校の部 佳作 宮城県石巻工業高等学校 3年 石田 昂貴 さん (いしだ こうき)</p>	 <p>A poster showing two figures in yellow safety gear and hard hats standing in a dark, debris-filled environment. A yellow excavator is visible in the background. Large white Japanese characters are overlaid on the scene: '木' (tree) and '来' (come) in the center, '前' (front) and '見' (see) on the right, and '目' (eye) at the bottom.</p>	